



「心の成長が垣間見える毎日」

校長 堀井 美佐

令和8年度は「これまで学んできたことに加えて、心の成長を意識してほしい」という話を、2・3年生には始業式の日、1年生には入学式の後に行いました。具体的には、①相手の立場にたって考えること、人を大切にすること、②目標に向かって進む中でくじけそうになっても、必ず立ち上がって前に進む強い意志をもつこと、③自分のやりたことを実現させるためには、何が必要か、どのような行動・言動が大切かを判断できることなど、様々な場面で自分自身の心で状況を受け止め、判断できるようになってほしいということです。

さて、6月5日（金）の体育祭に向けて毎日のようにダンスの練習に励み、教え合ったり、細かいステップを工夫したりする姿がありました。大縄跳びでは、うまく息が合わず足や体に縄があたったり、繰り返しジャンプしてもうまくいかなかったりして投げ出したくなることもあったと思います。

当日の天候は曇りでしたが、それぞれのブロックのTシャツをまとった姿がまぶしく、やる気に満ちあふれていました。学年競技ではペア・チームで息を合わせて互いを思い合う姿が印象的でした。女子100m・男子200mリレーはコース内を必死で駆け抜け、つなぐバトン、ゴールをめざす真剣な背中に心を打たれました。ダンスはどのブロックも心惹かれるキュートな表現で、みんなその場を楽しみながら練習の成果を発揮できていましたね。そして一番心に残ったのは、大縄跳びです。本番も何度も繰り返しチャレンジし、みんなの心が一つになって回数を重ねていけたと思います。生徒も先生たちも笑顔が輝いていました。

保護者の皆様におかれましては、時折雨が降る中、温かい応援ありがとうございました。少し冷たい雨となりましたが、生徒たちの「やりきった」表情は生き生きとして、とても晴れやかで清々しく、熱い想いを感じる1日でした。

生徒たちは、様々な学習活動の中で学び、経験し、体感し、考え、気づき成長しています。職員一同、生徒の心に寄り添い、将来を見据えて一歩ずつ着実に歩みを進めて参ります。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。